



緑の風



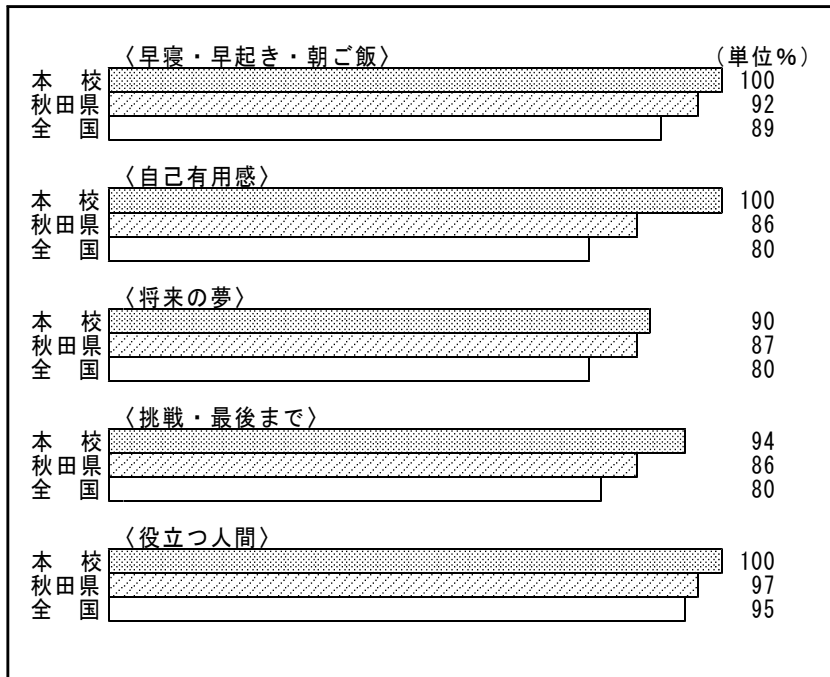
令和4年9月9日
No. 20

令和4年度 全国学力・学習状況調査 パート2

全国学力・学習状況調査について、今回は、児童生徒アンケートの結果をお知らせします。なお、7月29日（金）の読売新聞には、「児童生徒アンケートでは、新聞を読む頻度や自宅にある本の数が多いほど（教科の）平均正答率が高いという結果が出た。文部科学省は『日常的に新聞や本に親しみ、自分の考えをまとめることが大事だ』と強調している。」との記事が掲載されていました。



生活の様々な面についての意識調査



〈他の質問〉

「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」との回答が100%

- ・学校が楽しい（県+12、国+15）
- ・自分と違う意見について考えるのが楽しい（県+18、国+26）
- ・友達と協力するのは楽しい（県+7、国+6）
- ・家で計画的に勉強（県+14、国+29）
- ・家庭学習が1日1時間以上（県+30、国+41）
- ・読書が好き（県+13、国+17）

100%ではないが、県や国の平均を10パーセント以上、上回る

- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考える（県+11、国+27）
- ・学校でのICT器機の活用（意見交流、考えをまとめ発表）が週3日以上（県+79、国+73）

以上の結果から、本校の6年生は、**基本的な生活習慣が確立されており、よりよい生き方をする上で土台となる気持ちや意識が醸成されていることが分かります。**また、**家庭学習**についても、県や国の結果を大きく上回っています。学校教育目標の「自分で考え、みんなと創る 楽しいふるさとの学校」が6年生の姿となって表れていることも嬉しい限りです。



なお、驚いたのは、**ICT器機の活用について県や国の結果を大幅に上回っている**ことでした。現在、本校では、上記アンケート結果のような活用のほか、事情により学校を休んでいる児童に対し、リモート授業を行うなどの取組も日常的に行っています。



てくてく歩いて学校へ・・・



春から、徒歩での登下校についてお願いしていたところです。学校でも子どもたちに指導しますが、ご家庭でもその効果について話し合い、徒歩で登下校させるようお願いいたします。

【その1】

雨、風、雪に負けないで登校することで、困難を乗り越える気持ちが育ち、学習や物事に粘り強く取り組む忍耐力がつかます。



【その2】

歩くことで、お腹がすき、きちんと朝食をとるようになります。また、体力もつき、丈夫な体になります。

【その3】

挨拶を交わすなど、地域の方々との交流が生まれ、地域社会を明るくします。

【その4】

学校へ到着する頃には、脳が活性化して学習の準備が整い、1時間目から授業にしっかり集中できます。

【その5】

集団登校を続けることにより、小さい子や弱い人を思いやる心、組織への所属感、ルールを守ろうとする規範意識、リーダーとして仲間を安全に誘導する責任感など望ましい社会性が醸成されます。



特別な事情により車で送迎する場合は・・・



地域の方から、登校時の児童送迎の車について、次のような声が寄せられています。

『朝、子どもを送迎するために大仙市内方面へ向かう保護者の車が、給食センター前の緩やかなカーブの路上（図1）に駐車していて、大変危険だ。カーブを曲がってくる車と接触するのではないかと心配している。』

そこで、横堀自動車さんに相談し、給食センター横の横堀自動車さんの所有する土地（廃車置場）に、**児童送迎の場合のみ、一時的に駐車**してもよい（積雪時は除く）とのご了解をいただきました。

できるだけ、**お子さんを歩いて登校させるようにしていただくとともに、どうしても車で送迎しなければならない場合には、次の注意事項に留意し、安全に利用**していただくようお願いいたします。



図 1

【注意事項】

- ★大仙市方面に向かう車のみ利用可能です。
- ★横堀自動車廃車置場の手前側（図2）から入り、電柱を通り過ぎて給食センター前の石碑そば（図3）から出るようにお願いします。（一方通行）
- ★廃車置場内で降車して歩く児童に十分気を付けてください。また、道路へ出る際は、左右確認をし、他の車や登校中の児童に十分気を付けてください。



図 2

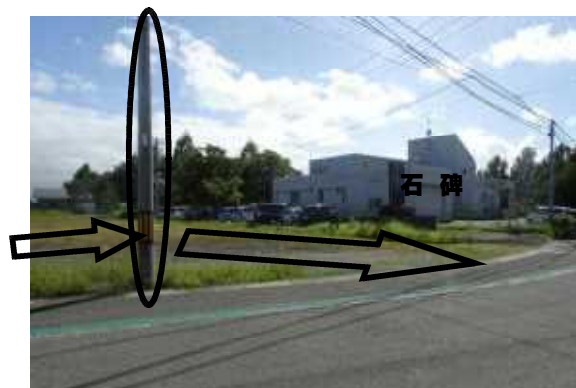


図 3 ※スムーズに入り出できるようにするため、電柱より奥の方から出るようにお願いします。